

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 費 項：教育総務費 目：教職員人事費

### 事業名 教員採用試験業務委託費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教職員課 小中学校係 電話番号：058-272-1111(内8590・8592)

高等学校・特別支援学校係 E-mail：c17766@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 14,593 千円 (前年度予算額：14,593 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	14,593	0	0	0	0	0	0	0	14,593
要求額	14,593	0	0	0	0	0	0	0	14,593
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

他縣市との人材獲得競争の中で、優秀な人材を確保することが急務である。

そこで、教員採用選考試験問題の正確性や、質の向上を期すため、公立学校教員採用選考試験第1次試験問題の外部委託を実施する。

### (2) 事業内容

- ・岐阜県公立学校教員採用選考試験第1次選考試験作問外部委託
  - 問題作成の外部委託
  - 問題点検委員による点検、点検後の校正の外部委託
  - 問題組版外部委託

(3) 県負担・補助率の考え方

県費 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料	14,593	作問、組版
工事請負費		
補助金		
その他		
合計	14,593	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県教育振興計画

4-⑭ 優れた教職員の確保と資質・能力の向上

(2) 国・他県の状況

13県で作問の外部委託を実施

(3) 後年度の財政負担

有 (前年同額)

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県教育委員会が実施する。

事業主として実施すべき事業であり妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

公立学校教員採用選考試験第1次試験問題の外部委託をすることにより、問題の正確性や質の向上を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①受験者倍率	2.8	2.9	3.3	3.7	4.0	
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

優秀な人材を確保するために様々な取組みを実施しており、本事業のみによる削減効果の指標を設定することはできない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和 3 年度	<p>令和5年度に実施される令和6年度採用試験に向けた取組であり、現時点において評価することができない。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	<p>公立学校教員採用選考試験第1次試験問題の正確性や、質の向上をするためには、作問に係る時間を削減し、点検や検討にかかる時間を確保する必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 他縣市との人材獲得競争の中で、優秀な人材を確保すること。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 優秀な人材を確保するために、費用対効果を加味した公立学校教員採用選考試験第1次試験問題の外部委託を検討</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例：人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
------------------------

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
---------------------

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--